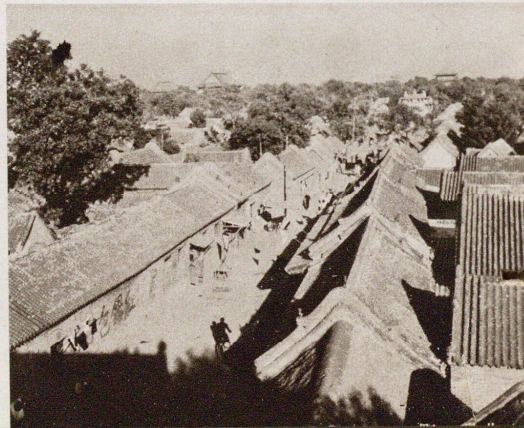




孔子廟大殿成殿



聖林參道



## 曲阜

CHUFU, THE BIRTH-PLACE OF CONFUCIUS

曲阜は津浦沿線の濟南と徐州のほぼ中間にあり、天津から南下すれば約十四時間、浦口から北上すれば約十七時間てつく縣城は古の魯の國の都て、魯城とも言はれる。現在の城廓は明時代の修築て高さ約二丈、周圍約三十町、人口は一萬たらずである。孔子生誕の地として一般に知られ、孔子の廟及び墓があり、孔子の後裔が之を守つてゐる。事變前まで、この墓や廟に參拜するのは華人よりも外人の方が多く、「四億の華人中儒教を奉ずる者寥寥、論語を念ずる者日人のみ」と言はれたのである。事變後臨時政府による政教一致、東洋精神文化宣揚を念願とする孔子祭の復活、小國民に對する孔孟の教への徹底等の眞摯な實行とともに華人間に「孔教尊崇」の熱が澎湃として起り、曲阜は全華人崇敬の中心として起つた。孔子の墓は縣城の北方約七町にあり、孔林又は至聖林と呼ばれてゐる。面積約六十萬坪、周圍に高い城壁をめぐらし城廓のやうになつてゐる。千年の老柏生茂る中に孔子を首め七十餘代の孔子の一族と、諸弟子の墓がある。孔子の墓の高さ二丈のすり鉢山て一面に草木に覆はれ、周圍は老樹が鬱蒼としてゐる。南側に元の武帝が追贈した稱號により「大成至聖文宣王之墓」と大書した碑が建つてゐる。碑は明時代の作孔子廟は明の萬曆二十二年(約三百年前)の改修にかゝるもので、規模の宏大、殿廡の壯麗なことは支那廟祠中の首位にあり、金碧の殿堂燦爛として壯麗を極めてゐる。